

TOSHIBA

2023年度 第1四半期決算

2023年8月7日

株式会社 東芝

執行役常務 CFO

松永 靖弘

注意事項

- この資料には、当社グループの将来についての計画や戦略、業績に関する予想及び見通しの記述が含まれています。
- これらの記述は、過去の事実ではなく、当社が現時点で把握可能な情報から判断した想定及び所信にもとづく見込みです。
- 当社グループはグローバル企業として市場環境等が異なる国や地域で広く事業活動を行っているため、実際の業績は、これに起因する多様なリスクや不確実性（経済動向、エレクトロニクス業界における激しい競争、市場需要、為替レート、税制や諸制度等がありますが、これに限りません。）により、当社の予測とは異なる可能性がありますので、ご承知おきください。詳細については、有価証券報告書及び四半期報告書をご参照ください。
- 注記が無い限り、表記の数値は全て連結ベースの3ヶ月累計です。
- 注記が無い限り、セグメント情報における業績を、現組織ベースに組み替えて表示しています。
- 当社はキオクシアホールディングス(株)（以下「キオクシア」）の経営に関与しておらず、同社の業績予想を入手していないため、当社グループの財政状態、経営成績またはキャッシュ・フローの見通しにはキオクシアの影響は含まれておりません。

今回ご説明のポイント

※空調事業等の連結除外影響を除く

23/1Q実績 **営業損益は増収^{*}による増益も、当期純損益は減益**
23年度予想 **営業損益は前回予想(5/12公表)通りの1,100億円**

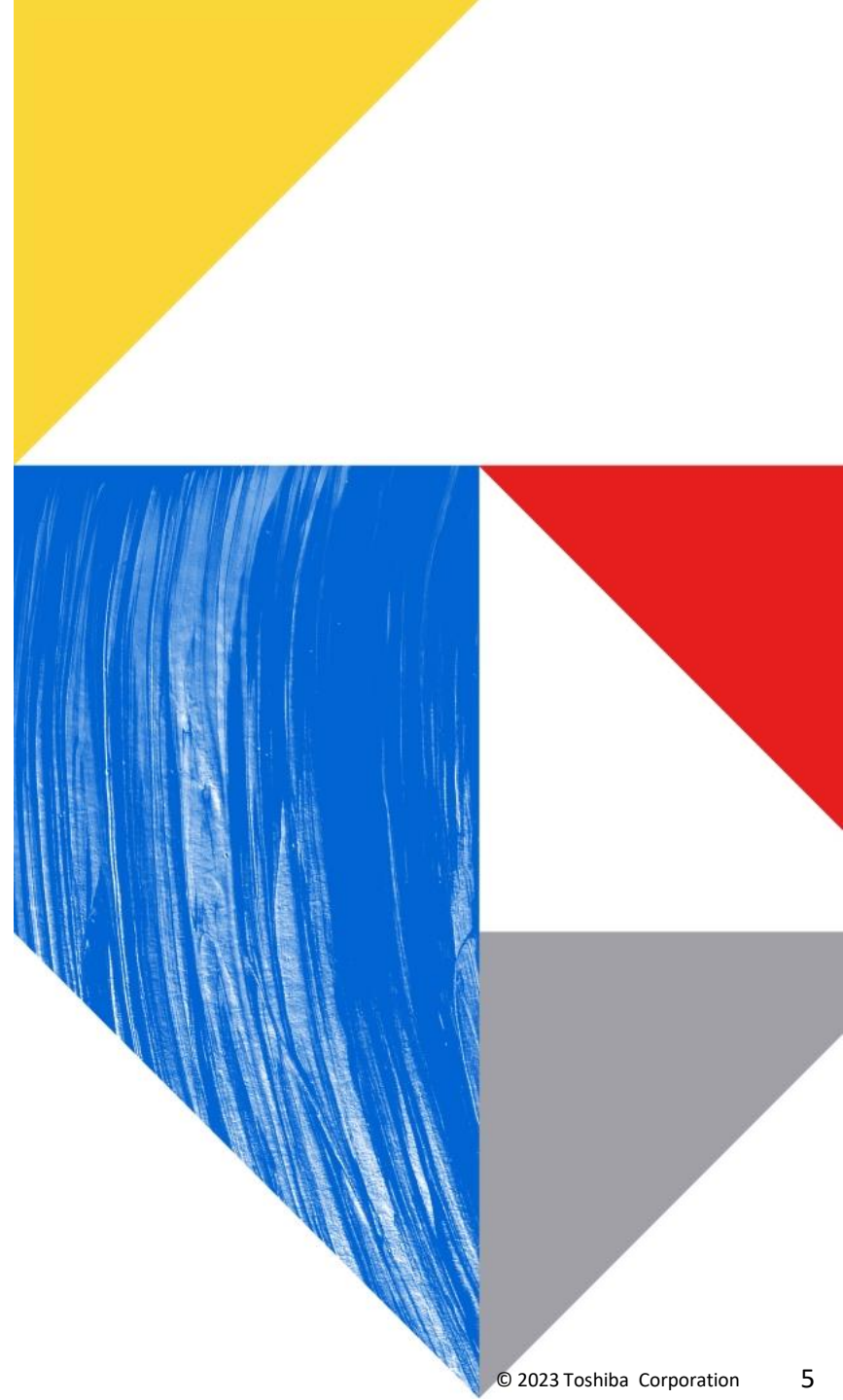
- 営業損益は対前同増益も、営業外損益の減益により当期純損益は減益
 - 売上高 22/1Q 7,407億円 → 23/1Q 7,041億円 (対前同 ▲366億円)
 - 営業損益 22/1Q ▲48億円 → 23/1Q 114億円 (対前同 +162億円)
 - 当期純損益 22/1Q 259億円 → 23/1Q ▲254億円 (対前同 ▲513億円)
- フリー・キャッシュ・フローは過年度の大口径前受金影響等により対前同減少
- 受注高は大型案件受注に伴い対前同+26%増加、受注残も堅調に推移
- 23年度業績予想は、前年度の一時的要因は解消するものの、成長に向けた固定費等を織り込み、前回予想(5/12公表)通りの営業利益1,100億円の達成を見込む

本日のご説明内容

- 01 全社業績
- 02 セグメント業績
- 03 補足説明事項
- 04 2023年度業績予想

01

全社業績



損益項目

営業損益は対前同増益も、営業外損益の減益により当期純損益は対前同減益

	22/1Q	23/1Q	差	主な差異要因
売上高 伸長率	7,407	7,041	▲366 ▲5%	(↗) エネルギーシステムSL、インフラシステムSL、 リテール&プリンティングSL、デジタルSL (↘) ビルSL、デバイス&ストレージSL、その他 うち為替影響 +158
営業損益 ROS	▲48 ▲0.6%	114 1.6%	+162 +2.2%pt	(↗) エネルギーシステムSL、インフラシステムSL リテール&プリンティングSL、デジタルSL、その他 (↘) ビルSL、デバイス&ストレージSL うち為替影響 +15
EBITDA EBITDAマージン	173 2.3%	357 5.1%	+184 +2.8%pt	
税引前損益	417	▲181	▲598	(↘) 営業損益 +162 営業外損益 ▲760
当期純損益 一株当たり当期純損益 発行済株式数 (千株)	259 59.85円 432,645	▲254 ▲58.68円 432,688	▲513 ▲118.53円 +43	
期中平均為替レート (米ドル)	127円	136円	+9円	

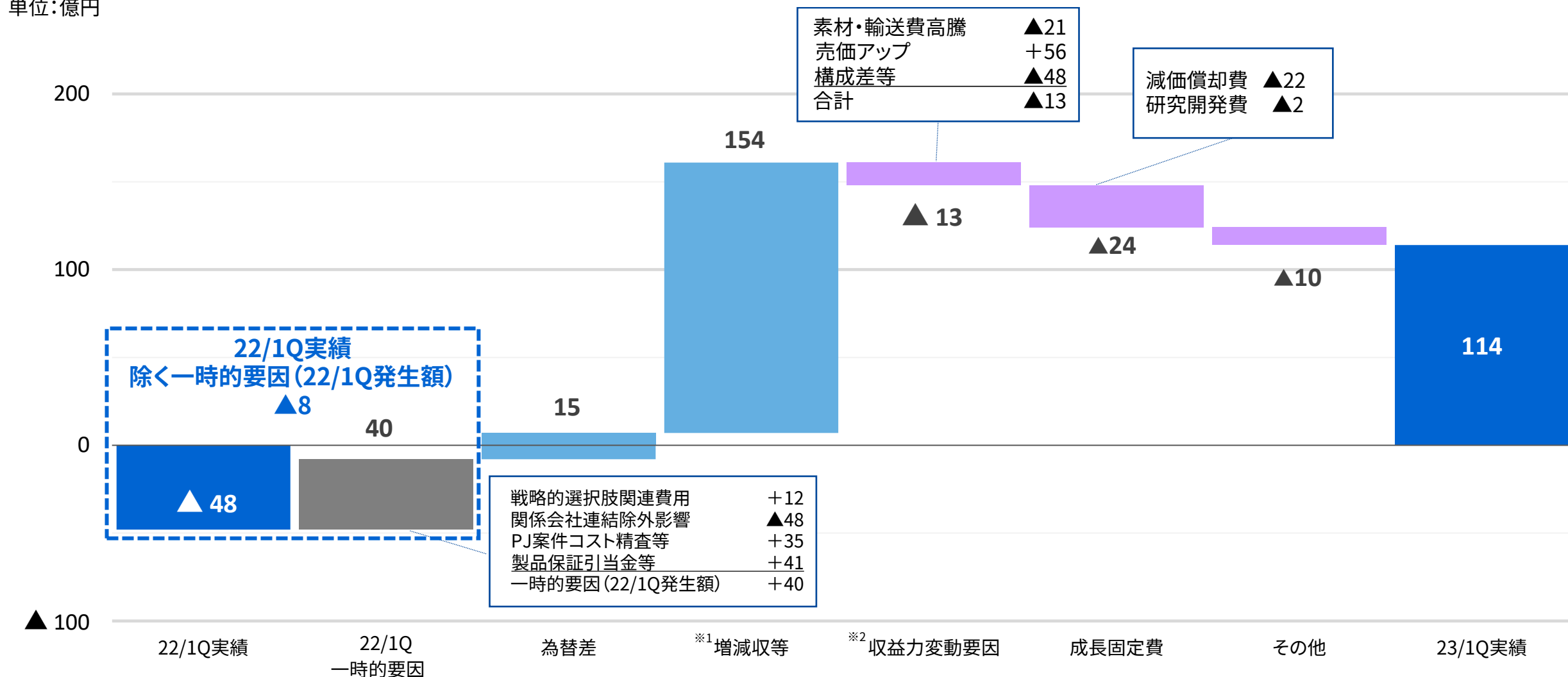
単位:億円
(↗):改善要因
(↘):悪化要因

営業損益分析 (22/1Q→23/1Q)

増収[※]による増益

※空調事業等の連結除外影響を除く

単位:億円



※¹ 増減収、固定費増減等 ※² 素材・輸送費高騰、売価、構成差等

営業外損益

キオクシア持分法損益等の影響により対前同減益

単位:億円

	22/1Q	23/1Q	差	
金融収支	0	10	+10	
為替差損益	32	24	▲8	
固定資産売却損益	46	▲9	▲55	
有価証券売却損益	※1 301	0	▲301	※1:広東美芝精密製造社および 広東美芝コンプレッサー社の売却益 200 中部東芝エンジニアリング(株)*の売却益 100
訴訟和解費用	▲51	▲13	+38	
持分法損益	153	▲389	※2 ▲542	※2:キオクシア持分法損益差 ▲533 (22年度1Q 122→23年度1Q ▲411)
その他	▲16	※3 82	+98	※3:有価証券評価損益 82 (芝浦メカトロニクス(株) +50)
合計	465	▲295	▲760	

※当社はキオクシアの経営に関与しておらず、当社としてキオクシアの業績をご説明する立場にないことからキオクシアの業績の詳細についてのご説明は差し控させていただきます。

*現 キオクシアエンジニアリング(株)

キャッシュ・フロー／バランスシート項目

単位:億円
 (↗):改善要因
 (↘):悪化要因

	22/1Q	23/1Q	差	主な差異要因
フリー・キャッシュ・フロー	936	199	▲737	
営業キャッシュ・フロー	1,110	553	▲557	(↘) 過年度における大口の前受金受領等による影響
投資キャッシュ・フロー	▲174	▲354	▲180	

	23/3末	23/6末	差	主な差異要因
株主資本	12,474	12,477	+3	(↗) その他の包括損益累計額 + 247
株主資本比率	35.2%	35.3%	+0.1%pt	(↘) 当期純損益 ▲254
Net有利子負債 ※	1,617	1,377	▲240	(↗) フリー・キャッシュ・フロー +199
除く、オペレーティングリース債務	657	460	▲197	
Net D/Eレシオ	13%	11%	▲2%pt	
除く、オペレーティングリース債務	5%	4%	▲1%pt	

※ Net有利子負債がマイナスの場合、Netキャッシュの状態(現金同等物が有利子負債を上回る)であることを示しています。

詳細項目

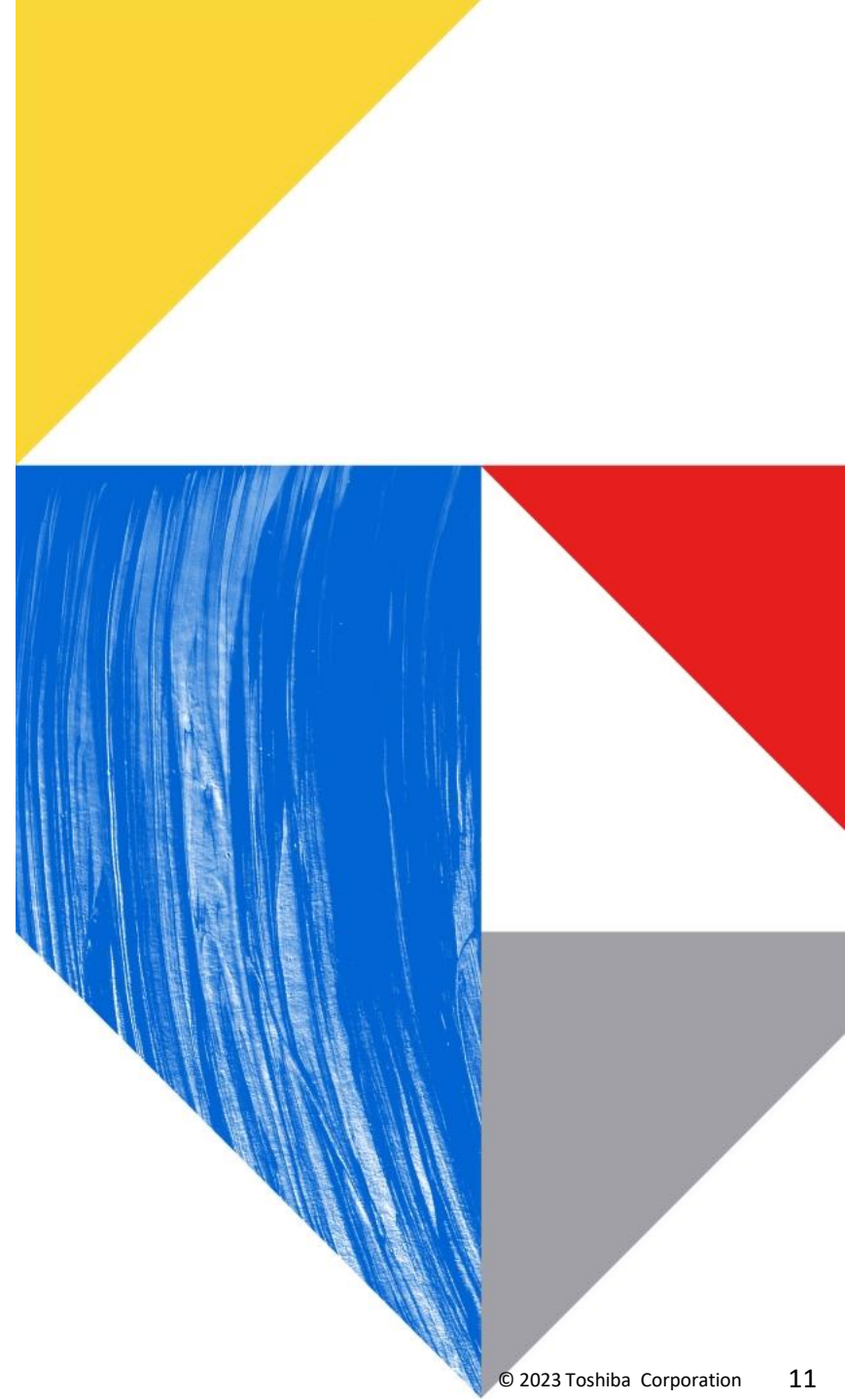
単位:億円

	22/1Q	23/1Q	差
売上高	7,407	7,041	▲366
営業損益	▲48	114	+162
営業外損益	465	▲295	▲760
税引前損益	417	▲181	▲598
税金費用	▲55	▲62	▲7
非支配持分控除前当期純損益	362	▲243	▲605
非支配持分帰属損益	▲103	▲11	+92
当期純損益	259	▲254	▲513
1株当たり当期純損益	59.85円	▲58.68円	▲118.53円
フリー・キャッシュ・フロー	936	199	▲737

	23/3末	23/6末	差
株主資本	12,474	12,477	+3
株主資本比率	35.2%	35.3%	+0.1%pt
純資産	13,371	13,401	+30
Net有利子負債	1,617	1,377	▲240
Net D/Eレシオ	13%	11%	▲2%pt
期末日為替レート(米ドル)	134円	145円	+11円

02

セグメント業績



セグメント業績

単位:億円

		22/1Q	23/1Q	差	(伸長率)
エネルギーシステム ソリューション	売上高	1,218	1,408	+190	(+16%)
	営業損益	▲76	74	+150	
	ROS	▲6.2%	5.3%	+11.5%pt	
インフラシステム ソリューション	売上高	1,338	1,380	+42	(+3%)
	営業損益	10	39	+29	
	ROS	0.7%	2.8%	+2.1%pt	
ビル ソリューション	売上高	1,423	818	▲605	(▲43%)
	営業損益	3	▲15	▲18	
	ROS	0.2%	▲1.8%	▲2.0%pt	
リテール&プリンティング ソリューション	売上高	1,106	1,224	+118	(+11%)
	営業損益	2	12	+10	
	ROS	0.2%	1.0%	+0.8%pt	
デバイス&ストレージ ソリューション	売上高	1,815	1,719	▲96	(▲5%)
	営業損益	77	41	▲36	
	ROS	4.2%	2.4%	▲1.8%pt	
デジタル ソリューション	売上高	497	508	+11	(+2%)
	営業損益	20	26	+6	
	ROS	4.0%	5.1%	+1.1%pt	
その他	売上高	506	504	▲2	(▲0%)
	営業損益	▲106	▲89	+17	
消去	売上高	▲496	▲520	▲24	
	営業損益	22	26	+4	
合計	売上高	7,407	7,041	▲366	(▲5%)
	営業損益	▲48	114	+162	
	ROS	▲0.6%	1.6%	+2.2%pt	

※ 22/1Q実績はインフラシステムソリューションとデジタルソリューションとの間で一部を組み替えています。
 ※ ビルソリューションにおいて、22/1Q実績には当社の連結対象から外れた空調事業の数値が含まれています。

エネルギーシステムソリューション 主要事業内訳

単位:億円

		22/1Q	23/1Q	差	主な差異要因
エネルギーシステム ソリューション	売上高	1,218	1,408	+190	為替影響 +18
	営業損益	▲76	74	+150	為替影響 +2
	ROS	▲6.2%	5.3%	+11.5%pt	
	セグメント別FCF		▲268		
発電システム	売上高	776	897	+121	
	営業損益	▲43	66	+109	(↗) 不採算案件減少による増益
	ROS	▲5.5%	7.4%	+12.9%pt	
原子力 火力・水力	売上高	242	281	+39	(↗) 安全対策工事関連の工事進捗差等
	売上高	534	616	+82	(↗) 国内火力既受注案件進捗差等
送変電・配電等	売上高	486	539	+53	(↗) 送変電・配電システム
	営業損益	▲27	6	+33	(↗) 増収による増益
	ROS	▲5.6%	1.1%	+6.7%pt	
その他	売上高	▲44	▲28	+16	
	営業損益	▲6	2	+8	

※セグメント別フリー・キャッシュ・フローは、社内管理上の経営指標であり、キャッシュ・フロー計算書上のフリー・キャッシュ・フローとは為替変動影響額の取扱い等が異なります。

インフラシステムソリューション 主要事業内訳

単位:億円

		22/1Q	23/1Q	差	主な差異要因
インフラシステム ソリューション	売上高	1,338	1,380	+42	為替影響 +17
	営業損益	10	39	+29	為替影響 +1
	ROS	0.7%	2.8%	+2.1%pt	
	セグメント別FCF		310		
公共インフラ	売上高	716	675	▲41	(▼) 社会システム・電波システム事業の減収
	営業損益	29	16	▲13	(▼) 社会システム・電波システム事業の減収による減益
	ROS	4.1%	2.4%	▲1.7%pt	
鉄道・産業システム	売上高	718	794	+76	(↗) 産業システム事業の増収、為替による増収
	営業損益	▲19	23	+42	(↗) 産業システム事業の増収による増益
	ROS	▲2.6%	2.9%	+5.5%pt	
その他	売上高	▲96	▲89	+7	

※ 22/1Q実績はインフラシステムソリューションとデジタルソリューションとの間で一部を組み替えています。

※セグメント別フリー・キャッシュ・フローは、社内管理上の経営指標であり、キャッシュ・フロー計算書上のフリー・キャッシュ・フローとは為替変動影響額の取扱い等が異なります。

ビルソリューション 主要事業内訳

単位:億円

	22/1Q	23/1Q	差	主な差異要因
ビルソリューション				
売上高	1,423	818	▲605	為替影響 +7 (↗) 昇降機 (国内・海外)、照明 (↘) 空調事業連結除外影響
営業損益	3	▲15	▲18	為替影響 +1
ROS	0.2%	▲1.8%	▲2.0%pt	(↗) 昇降機 (国内・海外)、照明 (↘) 空調事業連結除外影響
セグメント別FCF		114		

※ 22/1Q実績には当社の連結対象から外れた空調事業の数値が含まれています。

※セグメント別フリー・キャッシュ・フローは、社内管理上の経営指標であり、キャッシュ・フロー計算書上のフリー・キャッシュ・フローとは為替変動影響額の取扱い等が異なります。

デバイス&ストレージソリューション 主要事業内訳

単位:億円

	22/1Q	23/1Q	差	主な差異要因
デバイス&ストレージソリューション	売上高	1,815	1,719	▲96 為替影響 +66
	営業損益	77	41	▲36 為替影響 +13
	ROS	4.2%	2.4%	▲1.8%pt
	セグメント別FCF		▲55	
半導体 ^{※1}	売上高	917	1,082	(↗) (N) マスク描画装置販売増
	営業損益	124	172	(↗) (N) 増収による増益
	ROS	13.5%	15.9%	+2.4%pt
HDD他 ^{※2}	売上高	898	637	(↘) (H) モバイル/デスクトップHDD市場の縮小 (↘) (H) ニアラインHDD市場の調整
	営業損益	▲47	▲131	(↘) (H) 減収による減益
	ROS	▲5.2%	▲20.6%	▲15.4%pt (↘) (H) 製品保証引当金の計上 (注)

注: 特定顧客と品質認識について協議中であり、会計基準に則り適切な引当計上をしている。影響額は約▲60億円。

※1: ディスクリット、システムLSI、(株)ニューフレアテクノロジー

(H): HDD (N): ニューフレアテクノロジー

※2: HDD、部品材料、転売等

リテール&プリンティングソリューション デジタルソリューション

単位:億円

		22/1Q	23/1Q	差	主な差異要因
リテール&プリンティング ソリューション	売上高	1,106	1,224	+118	為替影響 +48 (↗) (R)増収、(P)増収
	営業損益	2	12	+10	為替影響 ±0
	ROS	0.2%	1.0%	+0.8%pt	(↗) (P)増益 (↘) (R)減益
セグメント別FCF			▲26		

(R):リテール事業
(P):プリンティング(ワークプレイス)事業

		22/1Q	23/1Q	差	主な差異要因
デジタルソリューション	売上高	497	508	+11	為替影響 ±0 (↗) 官公庁向けシステム、民間向けシステム (↘) 中部東芝エンジニアリング(株)*売却影響
	営業損益	20	26	+6	為替影響 ±0
	ROS	4.0%	5.1%	+1.1%pt	(↗) 増収による増益 (↘) 中部東芝エンジニアリング(株)*売却影響
セグメント別FCF			143		

*現 キオクシアエンジニアリング(株)

※ 22/1Q実績はインフラシステムソリューションとデジタルソリューションとの間で一部を組み替えています。

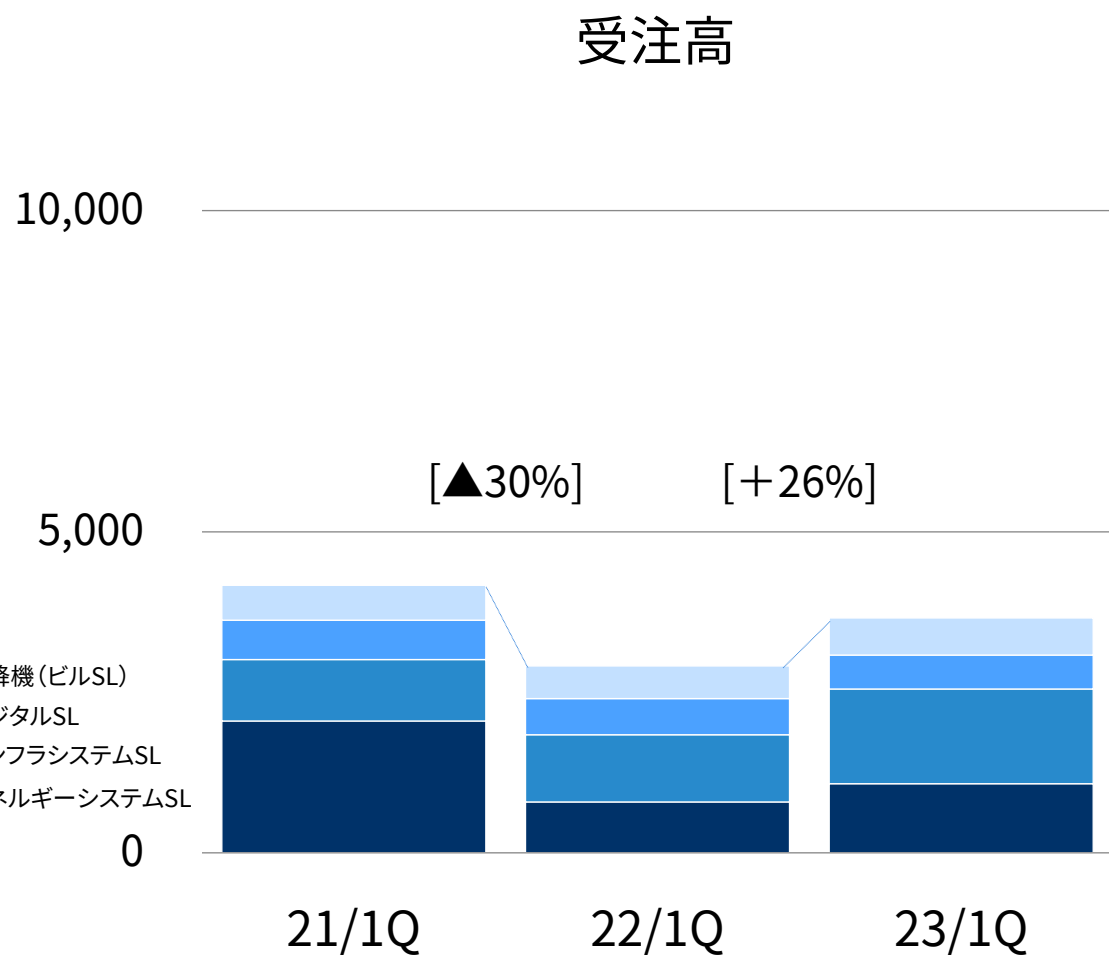
※セグメント別フリー・キャッシュ・フローは、社内管理上の経営指標であり、キャッシュ・フロー計算書上のフリー・キャッシュ・フローとは為替変動影響額の取扱い等が異なります。

受注高 受注残 推移

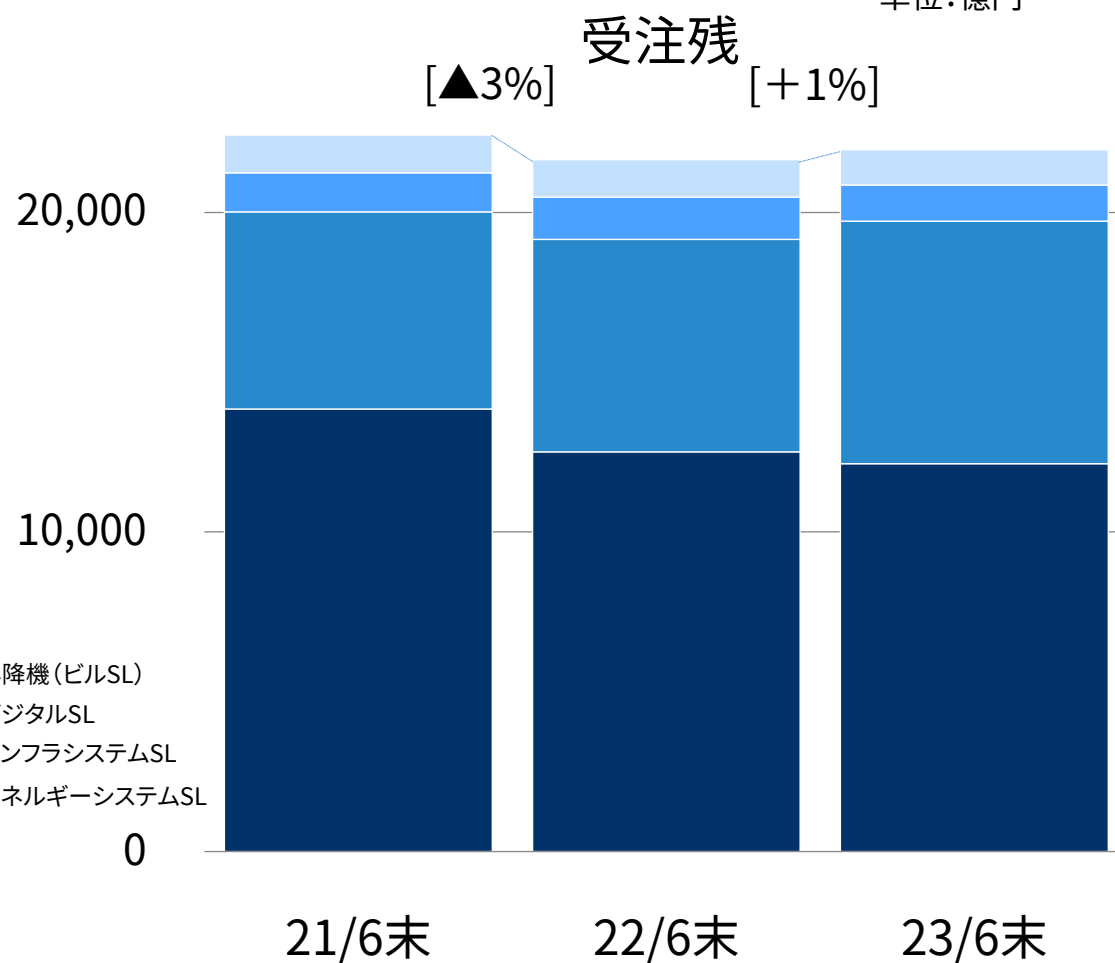
受注高、受注残ともに堅調に推移

単位:億円

受注高



受注残

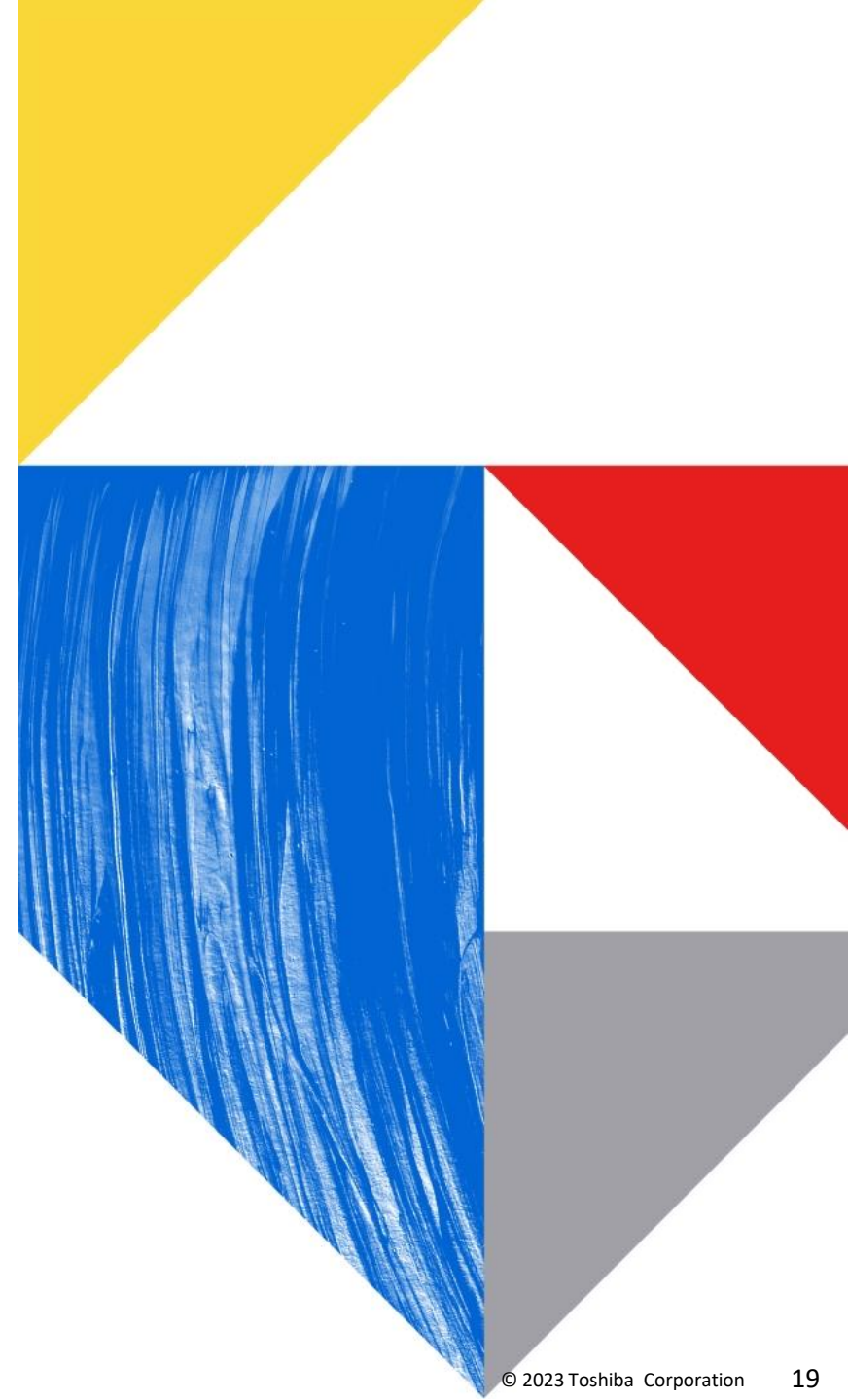


※”SL”はソリューションの略

※受注高及び受注残は、社内管理上の経営指標です。受注残は、四半期報告書で公表している残存履行義務とは異なります。

03

補足説明事項



キオクシア持分法損益

単位：億円

	持分法損益	(PPA影響) 内数	除PPA影響
22年度			
1Q実績	122	(▲41)	163
2Q実績	131	(▲16)	147
3Q実績	▲ 339	(▲15)	▲ 324
4Q実績	▲ 490	(▲14)	▲ 476
23年度			
1Q実績	▲ 411	(▲11)	▲ 400

(ご参考) ビット成長率・ASP推移

	ビット成長 (対前Q)	ASP (対前Q)
22年度		
1Q実績	20%台前半の減少	10%台前半の上昇
2Q実績	20%台前半の増加	10%台前半の下落
3Q実績	10%台半ばの減少	20%台前半の下落
4Q実績	10%台前半の増加	20%台後半の下落
23年度		
1Q実績	10%台半ばの増加	1桁%台半ばの下落

データ提供：キオクシア

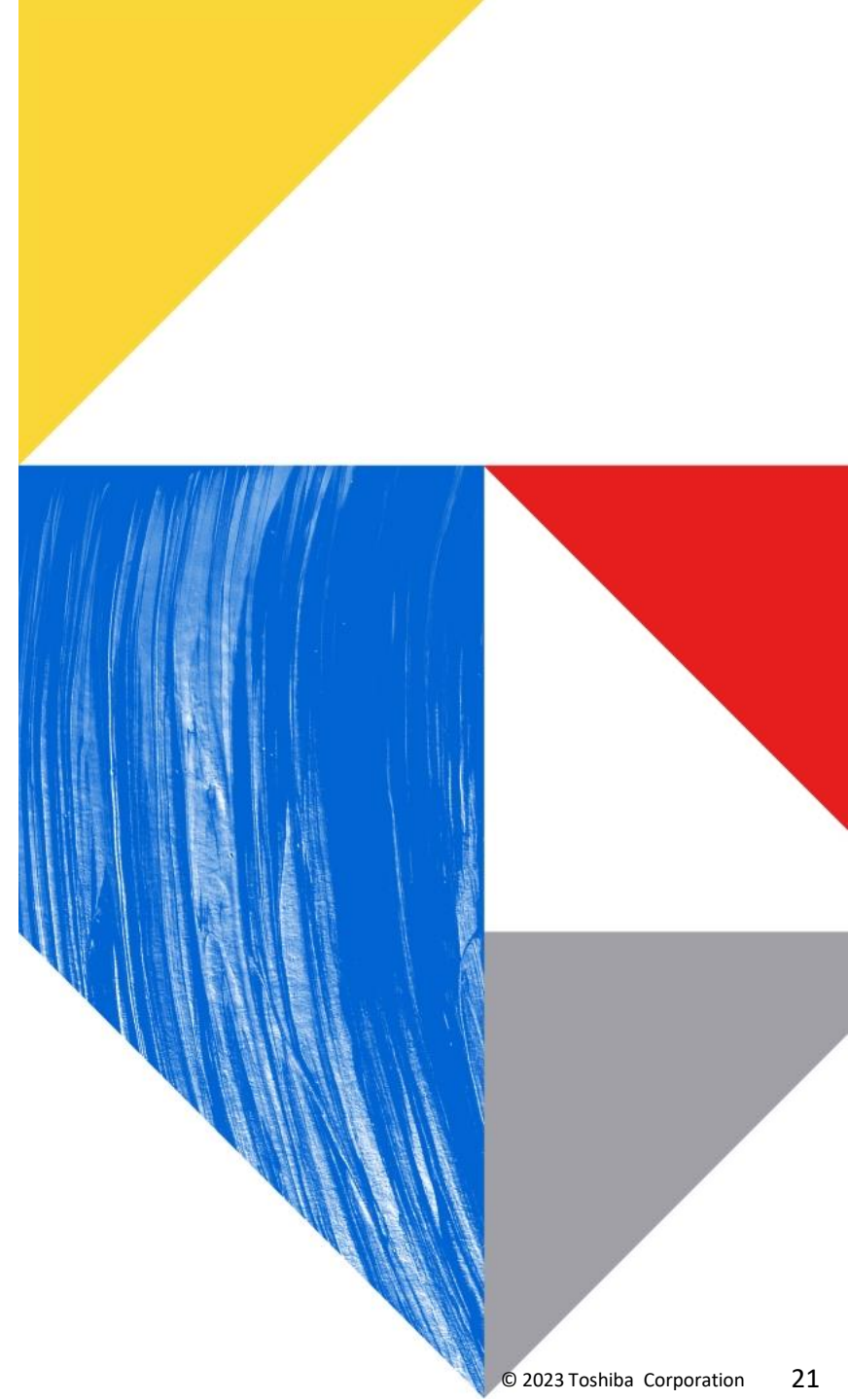
[今後の見通し]

キオクシアの持分法損益に係る今後の見通しについて提供を受けていないため、当社の連結業績については実績のみのご説明とさせていただきます。

⇒ 23年度見通しにおいては、キオクシアの持分法損益の将来見通しを織り込んでいない参考値を開示しています。

04

2023年度業績予想



業績予想 全社

単位:億円

	22年度 実績	23年度 業績予想	差	対前回予想 (5/12公表)
売上高 伸長率	33,617	32,000	▲1,617 ▲5%	0
営業損益 ROS	1,105 3.3%	1,100 3.4%	▲5 +0.1%pt	0 0.0%pt
EBITDA EBITDAマージン	2,264 6.7%	2,150 6.7%	▲114 ▲0.0%pt	0 0.0%pt
税引前損益	1,890	※ 600	▲1,290	▲400
当期純損益	1,266	※ 300	▲966	▲400
ROE	10.3%	※ 2.4%	▲7.9%pt	▲3.1%pt
ROIC ^{※1}	8.7%	※ 2.6%	▲6.1%pt	▲2.5%pt
フリー・キャッシュ・フロー	252	0	▲252	0

	23/3末 実績	24/3末 見通し	差	対前回予想 (5/12公表)
株主資本 株主資本比率	12,474 35.2%	※ 12,700 34.3%	+226 ▲0.9%pt	▲400 ▲0.9%pt
Net有利子負債 Net D/Eレシオ	1,617 13%	※ 1,700 13%	+83 +0%pt	▲100 ▲1%pt
期末日為替レート (米ドル)	134円	120円	▲14円	0円

※23年度見通しは、キオクシアの持分法損益の将来見通しを織り込んでいない参考値です。

※ 22年度実績には当社の連結対象から外れた空調事業の数値が一部含まれています。

※1 ROIC=(当期純損益-非支配持分帰属損益-支払利息×(1-税率))÷(純有利子負債+純資産)

業績予想 セグメント別

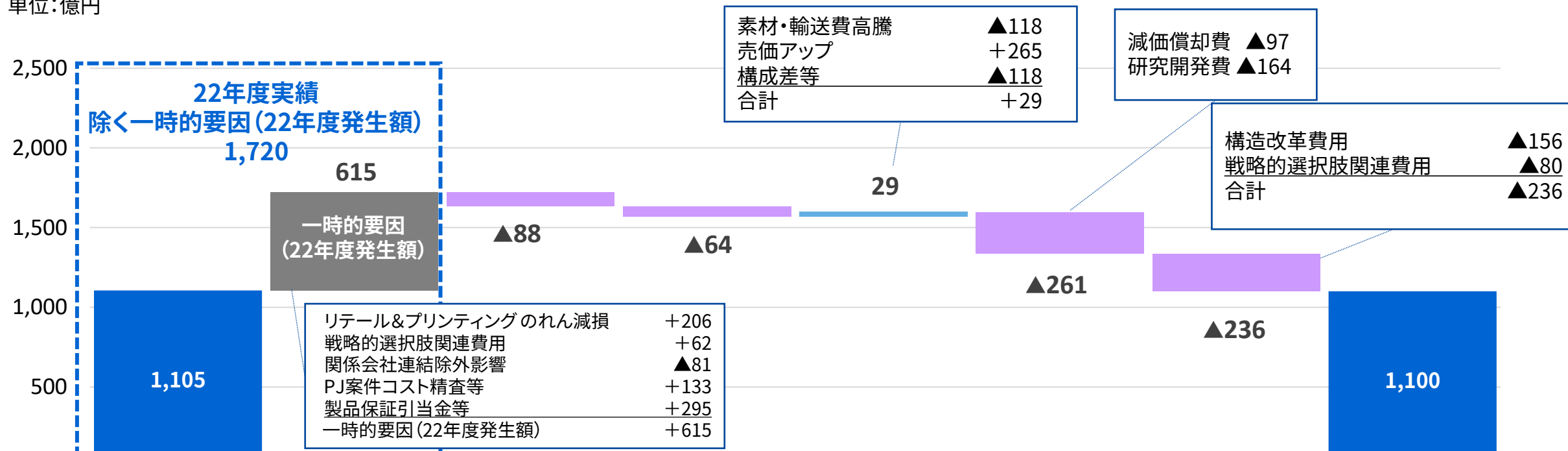
		22年度 実績	23年度 業績予想	差	(伸長率)	単位:億円 対前回予想 (5/12公表)
エネルギーシステム ソリューション	売上高	6,695	5,900	▲795	(▲12%)	+300
	営業損益	304	300	▲4		+30
	ROS	4.5%	5.1%	+0.6%pt		+0.3%pt
インフラシステム ソリューション	売上高	6,863	7,400	+537	(+8%)	0
	営業損益	459	550	+91		0
	ROS	6.7%	7.4%	+0.7%pt		0.0%pt
ビル ソリューション	売上高	4,481	3,600	▲881	(▲20%)	+100
	営業損益	59	▲30	▲89		▲10
	ROS	1.3%	▲0.8%	▲2.1%pt		▲0.2%pt
リテール&プリンティング ソリューション	売上高	5,131	5,100	▲31	(▲1%)	+200
	営業損益	▲41	180	+221		0
	ROS	▲0.8%	3.5%	+4.3%pt		▲0.2%pt
デバイス&ストレージ ソリューション	売上高	7,971	7,500	▲471	(▲6%)	▲600
	営業損益	429	400	▲29		▲170
	ROS	5.4%	5.3%	▲0.1%pt		▲1.7%pt
デジタル ソリューション	売上高	2,459	2,500	+41	(+2%)	0
	営業損益	262	260	▲2		+10
	ROS	10.7%	10.4%	▲0.3%pt		+0.4%pt
その他・消去	売上高	17	0	▲17		0
	営業損益	▲367	▲560	▲193		+140
合計	売上高	33,617	32,000	▲1,617	(▲5%)	0
	営業損益	1,105	1,100	▲5		0
	ROS	3.3%	3.4%	+0.1%pt		0.0%pt

※ 22年度実績はインフラシステムソリューションとデジタルソリューションとの間で一部を組み替えています。
 ※ ビルソリューションにおいて、22年度実績には当社の連結対象から外れた空調事業の数値が一部含まれています。

営業損益分析(22年度→23年度)

一時的要因の反動による改善と将来成長への費用増により1,100億円を計画

単位:億円



1Q	▲48	40	15	154	▲13	▲24	▲10	114
2-4Q	1,153	575	▲103	▲218	42	▲237	▲226	986
年度計	1,105	615	▲88	▲64	29	▲261	▲236	1,100
対前回(5/12)	±0	±0	+50	▲157	▲67	+50	+124	±0

22年度実績

22年度
一時的要因

為替差

※1 増減収等

※2 収益力変動要因

成長固定費

その他

23年度見通し

※1 増減収、固定費増減等 ※2 構造改革、素材・輸送費高騰、売価、構成差等

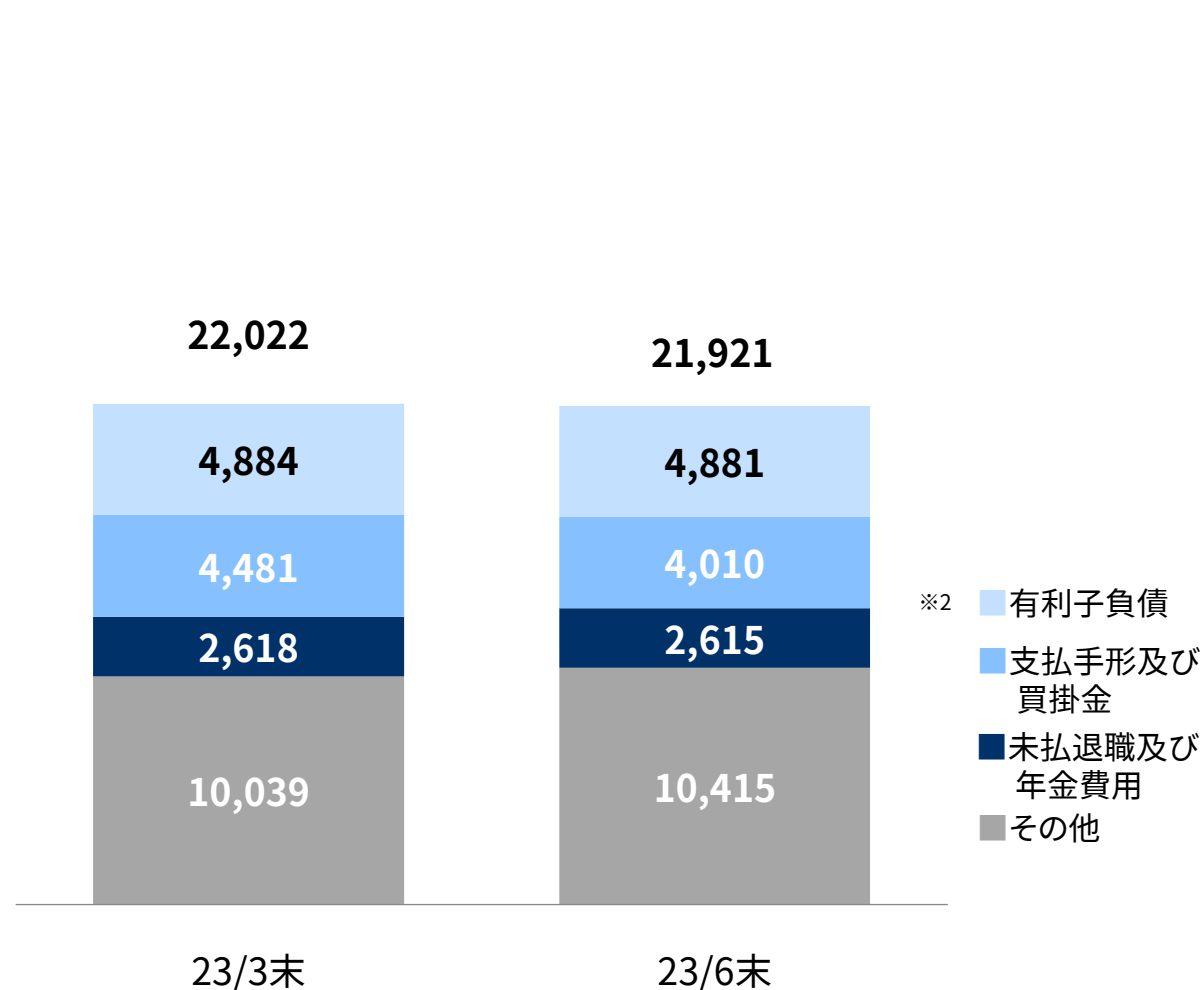
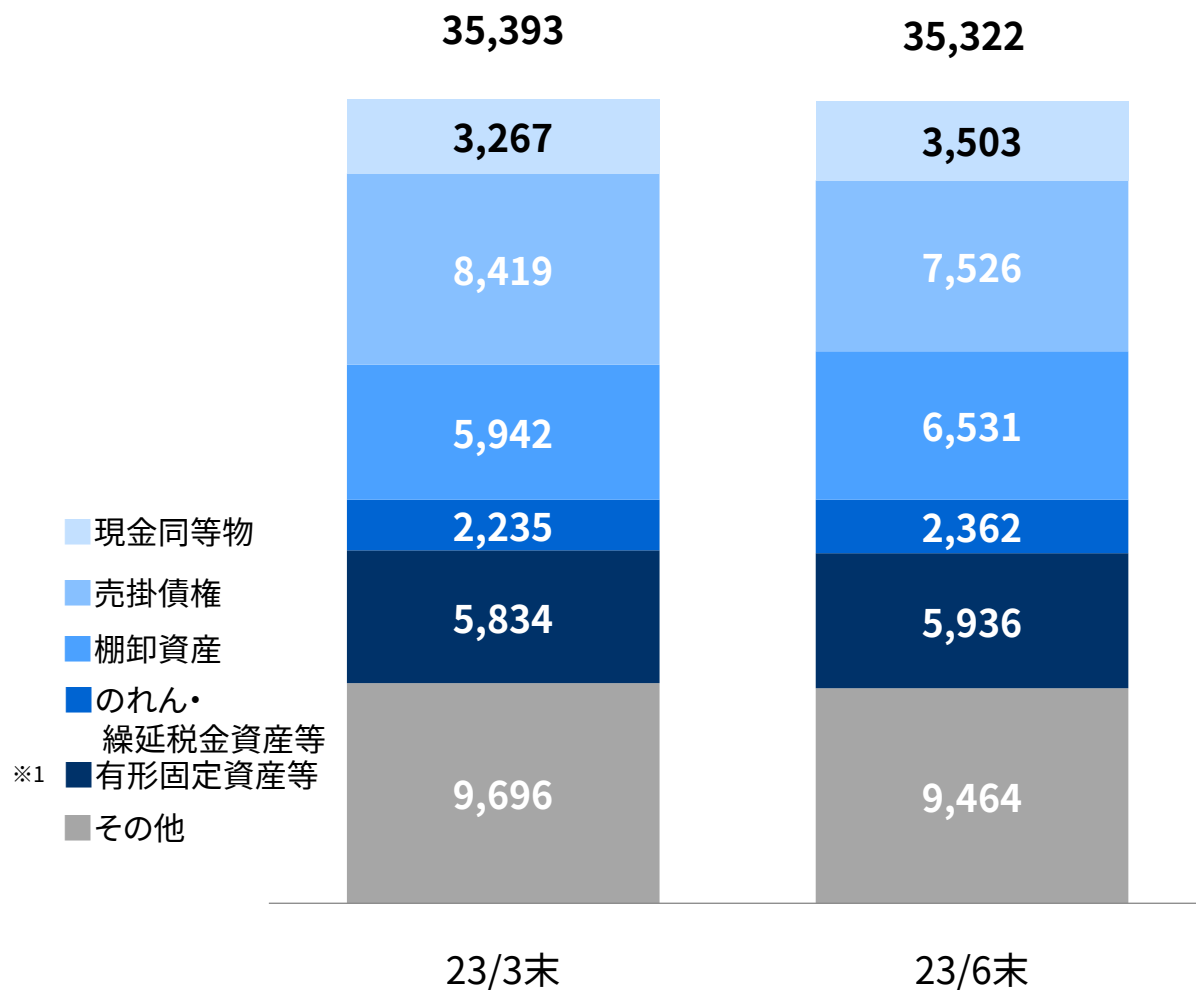
Appendix

貸借対照表

単位: 億円

資産

負債



※1 オペレーティング・リース使用权資産 (23/3末920億円、23/6末888億円) を含みます。

※2 オペレーティング・リース債務 (23/3末960億円、23/6末917億円) を含みます。

設備投資(発注ベース)

単位:億円

設備投資(発注ベース)	22年度 実績	23年度 見通し	対前回 (5/12公表)	23/1Q 実績	23/1Qの主な案件
エネルギーシステム ソリューション	68	120	▲70	12	
インフラシステム ソリューション	118	120	▲60	32	
ビル ソリューション	71	50	0	5	
リテール&プリンティング ソリューション	61	120	0	22	
デバイス&ストレージ ソリューション	1,172	730	▲60	389	パワー半導体増産投資
デジタル ソリューション	16	20	0	4	
その他	406	640	▲120	340	二次電池製造設備投資 ITシステム刷新/次世代基幹システム
合計	1,912	1,800	▲310	804	
投融資	26	50	0		

※ビルソリューションにおいて、22年度実績には当社の連結対象から外れた空調事業の数値が一部含まれています。

エネルギーシステムソリューション 主要事業内訳

単位:億円

		22年度 実績	23年度 業績予想	差	(伸長率)	対前回予想 (5/12公表)
エネルギーシステム ソリューション	売上高	6,695	5,900	▲795	(▲12%)	+300
	営業損益	304	300	▲4		+30
	ROS	4.5%	5.1%	+0.6%pt		+0.3%pt
発電システム	売上高	4,499	3,700	▲799	(▲18%)	+200
	営業損益	318	250	▲68		0
	ROS	7.1%	6.8%	▲0.3%pt		▲0.3%pt
原子力 火力・水力	売上高	1,813	1,700	▲113		0
		2,686	2,000	▲686		+200
送変電・配電等	売上高	2,331	2,300	▲31	(▲1%)	+100
	営業損益	39	50	+11		+30
	ROS	1.7%	2.2%	+0.5%pt		+1.3%pt
その他	売上高	▲135	▲100	+35		0
	営業損益	▲53	0	+53		0

インフラシステムソリューション 主要事業内訳

ビルソリューション

単位:億円

		22年度 実績	23年度 業績予想	差	(伸長率)	対前回予想 (5/12公表)
インフラシステム ソリューション	売上高	6,863	7,400	+537	(+8%)	0
	営業損益	459	550	+91		0
	ROS	6.7%	7.4%	+0.7%pt		0.0%pt
公共インフラ	売上高	3,845	4,400	+555	(+14%)	0
	営業損益	377	440	+63		0
	ROS	9.8%	10.0%	+0.2%pt		0.0%pt
鉄道・産業システム	売上高	3,530	3,600	+70	(+2%)	0
	営業損益	82	110	+28		0
	ROS	2.3%	3.1%	+0.8%pt		0.0%pt
その他	売上高	▲ 512	▲ 600	▲88		0
ビルソリューション ※	売上高	4,481	3,600	▲881	(▲20%)	+100
	営業損益	59	▲30	▲89		▲10
	ROS	1.3%	▲0.8%	▲2.1%pt		▲0.2%pt
昇降機		2,356	2,290	▲66	(▲3%)	+50
照明	売上高	1,191	1,270	+79	(+7%)	0
空調		949	0	▲949	-	0

※ 22年度実績はインフラシステムソリューションとデジタルソリューションとの間で一部を組み替えています。
 ※ビルソリューションにおいて、22年度実績には当社の連結対象から外れた空調事業の数値が一部含まれています。

デバイス&ストレージソリューション 主要事業内訳

単位:億円

		22年度 実績	23年度 業績予想	差	(伸長率)	対前回予想 (5/12公表)
デバイス&ストレージ ソリューション	売上高	7,971	7,500	▲471	(▲6%)	▲600
	営業損益	429	400	▲29		▲170
	ROS	5.4%	5.3%	▲0.1%pt		▲1.7%pt
半導体 ^{※1}	売上高	4,454	4,300	▲154	(▲3%)	▲300
	営業損益	710	530	▲180		▲120
	ROS	15.9%	12.3%	▲3.6%pt		▲1.8%pt
HDD他 ^{※2}	売上高	3,517	3,200	▲317	(▲9%)	▲300
	営業損益	▲281	▲130	+151		▲50
	ROS	▲8.0%	▲4.1%	+3.9%pt		▲1.8%pt

※1 : ディスクリット、システムLSI、(株)ニューフレアテクノロジー

※2 : HDD、部品材料、転売等

TOSHIBA